

第7回 県政運営評価戦略会議 会議録

- 1 日時 平成30年3月20日（火）午後1時30分～午後2時25分
- 2 会場 県庁10階 大会議室

委員		県	
阿部 頼孝（敬称略，以下同じ）		相田 芳仁	監察局長
石田 和之		近藤 理恵	監察局次長
伊庭 佳代		原 政敏	総合政策課政策調査幹
植田 美恵子		渡邊 峰樹	地方創生局次長
加藤 研二		廣瀬 祐史	評価検査課長
近藤 明子			ほか
鳴滝 貴美子			
南波 浩史			
久岡 佳代			
藤原 学			
榎本 久実			

（会議次第）

- 1 開 会
- 2 議 事
 - （1）徳島県総合計画審議会への提言書に対する回答について
 - （2）地方創生“挙県一致”協議会への提言書に対する回答について
 - （3）平成30年度の県政運営評価戦略会議について
- 3 閉 会

（議事項目と概要）

- 1 監察局長挨拶
- 2 徳島県総合計画審議会への提言書に対する回答について（資料1）
- 3 地方創生“挙県一致”協議会への提言書に対する回答について（資料2）
- 4 平成30年度の県政運営評価戦略会議について（資料3）
- 5 監察局長挨拶
（以下，概要は別に掲げる）

■ 監察局長挨拶

監察局長の相田でございます。

本日は、第7回の県政運営評価戦略会議を開催いたしましたところ、年度末の非常にお忙しい中、御出席いただき、誠にありがとうございます。

皆様方に昨年8月に、大変お暑い中、評価を頂きました行動計画に係る評価結果等につきましては、昨年11月15日にとりまとめまして、徳島県総合計画審議会の会長あてに「提言書」として提出させていただいたところでございます。

また、総合戦略に係る評価結果につきましても、同様に、地方創生“挙県一致”協議会の議長あてに提出させていただいております。

本日は、これらの提言の反映結果につきまして、担当部局から、御報告させていただきたいと考えております。

また、その後、来年度の県政運営評価戦略会議の運営案について、御協議いただければと考えております。

委員の皆様方には、大所高所から、忌憚のない、御意見を賜ればと考えておりますので、本日はどうかよろしくお願いいたします。

■ 議事

(会長)

それでは、議事に入らせていただきます。

皆様、議事進行に御協力のほどよろしく申し上げます。

まず、議事(1)の徳島県総合計画審議会への提言書に対する回答について、に移りたいと思います。

本年度、戦略会議で評価いたしました「新未来『創造』とくしま行動計画」の評価結果等につきましては、昨年11月15日に徳島県総合計画審議会へ提言を行いました。これに対する審議会からの回答について、今回、御報告いただきます。

それでは、徳島県総合計画審議会の事務局である総合政策課から、報告をお願いいたします。

(総合政策課)

資料1の説明

(会長)

ありがとうございました。

ただ今の報告に関しまして、何か、御質問等がありましたらお願いいたします。

(A委員)

今御説明いただいた中で、「県政運営評価戦略会議からの『基本目標ごとの意見

・提言』への対応方針等」という資料についてなんですけど、ここの中で御説明の中にはなかったんですが、1ページ2番の空き家の活用といったところで、最近空き家をリフォームやリノベーションしたり、それがあまりにもという場合には崩れてしまって、資源として、資材として使えるよう再利用するような取り組みがなされているところもあるかと思っておりますので、そういったところに支援できるような施策についても考えていただけないかと思っております。以上でございます。

(総合政策課)

御意見ありがとうございました。担当部局と連携をとりまして、そのように取り組めるように進めて参りたいと考えております。ありがとうございます。

(会長)

他に御意見、御質問などいかがでしょうか。はい、お願いいたします。

(B委員)

移住に関して、人数を増加させているという記載を見させていただいているんですけど、最近いろいろな文献とか、私もちょっと分析したんですけど、移住をする前に、いろいろホップ、ステップ、ジャンプみたいところがありまして、ひとまず徳島県に興味をもっていただいたり、関心をもつていただかないと移住になかなかつながらないという結果がでてきているような感じになっています。

その一つの指標としてあるのが、ふるさと納税というのがありまして、それをいかに獲得できるかということが、興味を持っているかどうかという指標になっているところもあります。そういうような指標を組み込みながら、最終的に移住者が増加するというような仕組みづくりというか、評価の方法もあるのかなというのが一点です。

あと、先ほど東京の話で、売上げを目標にするという話があったと思うんですけども、それ以外の場所で、売上げとか実際にこれぐらいのお金を生み出すんだというふうな指標を加えた場所ってありますか。

(総合政策課)

先ほどのお話は、2月にオープンした「Turn Table」での販売総売上額の目標についてのご質問かと思っております。販売売上げについて具体的に目標を定めたというのは以前にもあると思うのですが、こういった県外でのアンテナショップでの販売総売上額の目標を行動計画に盛り込んだのは、今回が初めてではないかと承知しております。

(B委員)

今回お伺いしたのは、今までイベントを何回開催するとか、こういうものに何人周知しますというような目標が多かった中で、これだけの売上げを目標にしますというのは今まで見当たらなかったもので、こういう目標をより多くの施策で何かの指標として作っていただけると、評価をする方としては非常にありがたいなというところがあるのと、一番説明しやすいものになるのかなと思いますので、是非今後いろんなところで、売上げだけじゃないんですけど、ある目標として、数値として、こういうような参加人数、あとはそこからどれくらい派生したかとか、いくら利益を得たのかというような目標をたてていただけるようお願いできればありがたいと思います。以上です。

(会長)

他によろしいでしょうか。はい、お願いします。

(C委員)

危機管理のところ、ライフラインの整備が提起をされておまして、28ページと32ページのところで、「徳島県水道ビジョン」の策定をしますというふうに出しておまして、もう少し早くこういうものができればよかったんじゃないかと思うんですけど。

過日、那賀町で断水がございまして、浄水場の水がなくなってくるというふうなことで、断水があったりとか、それから、水道管の耐震化率が全国的には徳島は低いんじゃないかというようなことが新聞の記事にも載っていましたが、水道事業が市町村ごとの企業会計ですから、規模によっては資金がなかなかとれないということも影響しているということと、最近では節水器具がかなり普及している、更に人口が減少しているということがあって、有収水量が非常に低下しているといったことが、予算が非常に厳しくなっているといった状況があるんですね。

広域連携の在り方を含めて、もう少し予算面も含めてカバーができるような体制をとらないと、地域ごとの格差が出てくるということと、特に、徳島市が大規模ですので、徳島市を中心にした広域連携の在り方のような、そういうビジョンをつくる必要があるんじゃないかなというふうに感じました。以上です。

(会長)

はい。特に、御返事いただくようなことはないかと思いますが、御意見を踏まえてやっていただければと思います。

他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、行動計画についてはここまでといたしまして、続きまして、議事(2)の地方創生“挙県一致”協議会への提言書に対する回答について、に移りたいと思います。

本年度、戦略会議で評価いたしました「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」の評価結果につきましても、昨年11月15日に地方創生“挙県一致”協議会へ提言を行いました。

これに対する協議会からの回答について、今回、御報告いただきます。

それでは、地方創生“挙県一致”協議会の事務局である地方創生推進課から、御報告をお願いいたします。

(地方創生推進課)

資料2の説明

(会長)

ありがとうございました。

ただ今の報告に関して、何か、御質問等がありましたらお願いいたします。

はい、お願いします。

(A委員)

今御説明いただいた中で、パワーポイントの18ページで「とくしま創生・若者『絆』TF」メンバーも参画と書いていただいて、「AWAIRO(あわいろ)」の写真も載せていただいているんですけど、これも含めていろんなところで学生を行政の中に入れていただいて、たくさん勉強させていただいて、本当に学生にとっては良い経験になっていますし、こういうことをすることによって、参加した学生以外にも行政ってこんなだよとか、こういうことを県は考えているということが伝わっているかなと思いますので、引き続き学生をまたこういうところに参加させていただけたらと思います。どうぞよろしくをお願いいたします。

高専の学生はなかなか参加する場って少ないですかね。遠いからですかね。

(地方創生推進課)

ありがとうございます。本当に学生さん、中高生、大学生含めまして、大人と違って非常に柔軟な発想ができますので、A委員おっしゃるとおり、これからもどんどん幅広い学校に参画していただけるような仕掛け作りというのを政策の中で考えていきたいと考えております。ありがとうございます。

(会長)

他に御意見、御質問ありますか。はい。

(D委員)

ちょっとどこに関連するのかわかりにくいんですけど、例えば、出羽島で非常に観光が一時取り上げられていたんですが、やっぱりお世話する方が御退職されたりすると、自然に消滅してしまうような部分があって、何かそのあたりうまく連携がとれないのかなという気がするんですが、いかがでしょうか。

(地方創生推進課)

核となる人材のことだと思います。委員おっしゃるとおり、物事を進めるときに核となる人材が動かしていくと。その人がちょっと離れてしまうとしぼんでしまうというのがあると思いますので、これは多分徳島県だけの問題ではなくて、いろんなところでそういった人材の問題が出ています。

人材育成って非常に重要だと思っていて、ただなかなか解決策がすぐには見いだせないということがありますので、いろんな部局に関わる問題ですので、しっかりそこらへんの研究というのを進めていきたいと考えております。

(D委員)

商工会議所の方がリーダーだったと思うのですが、その方が定年。期間延長があってもやがてストップになってしまう。なかなか後継者が育っていないと、せっかく一時盛り上がったのがっていう部分がありますので、また一つよろしくをお願いします。

(会長)

他に御意見は。

(E委員)

パワーポイントの12ページの大型クルーズ船なんですけど、毎年何隻か入ってきているんですけど、今年も4月4日に入ってくると聞いたんですけど。入ってくるたびに、朝入港で、夕方に出港していて、外国人客の宿泊はしていないと思うんですよね。船から降りて、バスで観光地に運んで、船まで運んできて、帰ってもらおうとなっていると思うんですけど。今回また4月には勝浦町の方に何千人が行くみたいなんですけど。やはり、宿泊をもう少し進めていったらどうかなと思うんですけど。

本当に短時間で大きな船が行ったり来たりでもったいないなと思うんですよ。赤石埠頭しか大きな船は着岸できないんですけど、私たちはいつも家からこう大きな船が出たり、入ったりするのが見えるんですよ。それも子どもを連れてみなさんが見に来てくれたりしているんですけど、何千人もの外国の方が一遍に運んできてくれる船を、宿泊ということをもっと考えてはどうかと思うんですけど。

(地方創生推進課)

委員の御指摘はごもっともだと思います。関係部局としっかり話をし、うまく活かせるようなかたちで、徳島県としていろいろ検討を進めていきたいと思えます。

(会長)

他に御意見など。はい。

(F委員)

13ページの「マリッサとくしま」のことなんですが、私も地元の委員会で縁結びとか婚活事業をしているのですが、なかなか成果が上がらないんです。そこで、せっかくボランティアの支援の団体登録数とかありますので、この中で情報交換できるとか、どんなふうにしたら成果が上がるのか、ここ3年ぐらいしているけど一向に成果が上がらないので、でも絶対人間を増やさないといけないので、そういうノウハウを情報交換できればありがたいなって。どうしたらいいんだろうと常に悩んでおりますので。また、そういうのがあればお願いいたします。

(地方創生推進課)

関係部局に、そういう場ができるように伝えておきたいと思えます。

(会長)

他にいかがでしょうか。

(G委員)

9ページなんですけど、農林水産業に対する新規就業者の拡大ということで、今回、とくしま漁業アカデミーの開校とあるんですが、林業アカデミーは今年2期生が卒業していくんですけど、卒業してからのフォローですかね、1年間のアカデミーでの勉強で、なかなか仕事の習得できない部分もあるんですね。卒業してから就職をして、そこで初めて現場に入って、仕事をしていくんですけど、そこで行き詰まったりすることもあると思うんですね。県の方からも、後々どんな状態なのかというところのフォローをしてもらえたらと思えます。お願いします。

(地方創生推進課)

関係部局、農林の方にしっかり伝えます。現状どうなっているかわからないんですが、伝えておきたいと思えます。

(会長)

他に御意見、御質問などいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ここで、原政策調査幹と渡邊地方創生局次長は退席いたします。

御出席いただき、ありがとうございました。

続きまして、議事（3）の平成30年度の県政運営評価戦略会議について、に移りたいと思います。

まず、資料3の平成30年度 県政運営評価戦略会議について（案）に関して、事務局から説明をお願いします。

(評価検査課長)

資料3の説明

(会長)

ありがとうございました。

ただ今説明のありました、平成30年度 県政運営評価戦略会議（案）について、御意見、御質問等がありましたらお願いいたします。

(質疑なし)

(会長)

よろしいでしょうか。

それでは、この内容で平成30年度の県政運営評価戦略会議を開催したいと思いますので、よろしくをお願いします。

また、現地視察の視察先、日程等につきましては、私に、御一任いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(会長)

それでは、そのようにさせていただきます。

続きまして、事務局から何かありましたら、お願いします。

(評価検査課長)

年度当初に行います現地視察につきましては、先ほど御説明しましたように、5月中旬から6月末までの間に実施予定でございます。

視察先、日程等につきましては、会長に御相談させていただき、詳細が決まり

次第に御案内させていただきたいと思っております。

また、本日の会議録については、事務局で取りまとめまして、会長に御確認いただいた上で、県ホームページなどで公表させていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局からは、以上でございます。

(会長)

以上をもちまして、本日の議事を終わらせていただきます。

議事の進行に御協力いただき、ありがとうございました。マイクを事務局にお返しいたします。

(事務局)

委員の皆様、本日は大変お疲れさまでございました。

閉会に当たりまして、相田監察局長より、御挨拶を申し上げます。

(監察局長)

会長をはじめ、委員の皆様方には、本日も含めましてトータルで今年度、7回にわたる会議に御出席いただき、終始、御熱心に御議論を頂いたこと、ここで改めてお礼を申し上げます。

今の御説明にもありましたように、来年度は、行動計画3年目の実績の評価ということでございますけど、また、次期行動計画の策定期間にも当たっております。評価自体がプレ総括評価的な、大変重要な意味をもってくるものと考えております。

委員の皆様方には、県政各般にわたります施策や事業の評価を通じまして、県勢発展のため、また引き続き御協力いただけたらと考えております。

本日は、どうもありがとうございました。